

## 公園事業施設等の被害状況

### 1. 陸中海岸国立公園の被害状況

- 公園事業の被害状況を現地調査により把握した結果、全壊 17%、半壊 11%、一部被害 22%、被害なし：44%であった。（全 121 事業、9 月 2 日現在）

※全壊：津波により流出、倒壊した施設を含む公園事業  
 一部被害：軽微な被害に留まった施設を含む公園事業  
 半壊：「全壊」、「一部被害」、「被害なし」以外の公園事業

- 施設のうち、高台にある施設は比較的被害が軽微であるが、野営場、トイレ、園地、道路（歩道・車道）などで、直接津波の影響を受けた施設の多くが全壊

#### （1）集団施設地区

- 集団施設地区は、公園の利用及び管理のための施設を総合的に整備し、快適な公園利用の拠点とする地区。利用施設が漫然と公園の全区域に散在して、いたずらに自然の風景を損傷することを避けるとともに、施設の利用効果を上げるため各種の利用施設を有機的かつ相応的に一定地区に整備し、公園の適正な利用を増進するために、公園計画に基づき指定するもの。
- 陸中海岸国立公園には、7つの集団施設地区が指定されている。

#### ①普代集団施設地区（岩手県普代村）

- 整備計画：北山崎と並ぶ断崖景観を有する北部陸中海岸の主要な利用拠点。雄大な海岸景観を活かし、キャンプ場や国民宿舎のある滞在拠点として、また海岸景観の観賞等の日帰り利用の拠点として整備を進める。

- 年間利用者数（H21）：3.8 万人

- 整備されている公園事業の被害状況

全壊	0 事業	
半壊	0 事業	
一部被害	1 事業	宿舎
被害なし	5 事業	園地×2、駐車場、野営場、車道
未調査	0 事業	

## ②田老集団施設地区（岩手県宮古市）

○整備計画：三王岩、真崎海岸をはじめとする優れた観賞対象を有する北部陸中海岸の主要な利用拠点。キャンプ場や国民宿舎を有する滞在拠点として、また、海岸景観の観賞、海水浴等の日帰り利用の拠点として整備を進める。

○年間利用者数（H21）：38.7万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	4事業	野営場、園地、駐車場、車道
半壊	2事業	休憩所、園地
一部被害	0事業	
被害なし	2事業	給水施設、歩道
未調査	0事業	

## ③宮古姉ヶ崎集団施設地区（岩手県宮古市）

○整備計画：南北に細長い本公園の中央部に位置する宮古市内にあり、アカマツ、ミズナラ等の自然植生がよく残された主要な利用拠点。それらの植生と測に生息する動物類、海岸で繁殖する海鳥類等、豊かな自然環境の中に滞在し自然を採勝する利用拠点として整備を進める。

○年間利用者数（H21）：12.8万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	3事業	休憩所、野営場、水泳場
半壊	0事業	
一部被害	1事業	園地
被害なし	3事業	駐車場、博物展示施設、宿舎
未調査	0事業	

## ④浄土ヶ浜集団施設地区（岩手県宮古市）

○整備計画：南北に細長い本公園の中央部に位置しており、宮古市街からの到達性にも優れており、最も来訪者の多い利用拠点である。これらの特性を勘案し、老若男女を問わず自然採勝が行えるよう整備を進める。

○年間利用者数（H21）：101.0万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	3事業	園地×2、歩道
半壊	5事業	休憩所、舟遊場×2、車道×2
一部被害	0事業	
被害なし	5事業	駐車場、博物展示施設×2、宿舎、休憩所
未調査	0事業	

## ⑤碓石海岸集団施設地区（岩手県大船渡市）

○整備計画：入り組んだ海岸線とアカマツ林が良好な風致を形成する南部陸中海岸の主要な利用拠点。キャンプ、海水浴等の野外レクリエーションに重点をおいた滞在利用の拠点として、また自然探勝利用の拠点として整備を進める。

○年間利用者数（H21）：51.1万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	0事業	
半壊	0事業	
一部被害	4事業	園地×2、野営場、博物館
被害なし	2事業	園地、駐車場
未調査	0事業	

## ⑥気仙沼大島集団施設地区（宮城県気仙沼市）

○整備計画：南部陸中海岸に浮かぶ本公園唯一の有人島である気仙沼大島の東岸に位置する主要な利用拠点。南部陸中海岸の特徴ある自然とのふれあいを深めるため、キャンプや海水浴利用を推進するとともに、国民休暇村、博物展示施設、自然探勝路等の有機的な連携を図り、快適な自然探勝ができる滞在型拠点として整備を進める。

○年間利用者数（H21）：32.1万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	0事業	
半壊	1事業	園地
一部被害	4事業	園地×2、宿舎、車道
被害なし	3事業	休憩所、駐車場、野営場
未調査	0事業	

## ⑦唐桑御崎集団施設地区（宮城県気仙沼市）

○整備計画：南部陸中海岸の唐桑半島の南端に位置する主要な利用拠点。自然探勝利用を推進する地区として、滞在利用と日帰り利用の両面に対応できるように整備を進める。

○年間利用者数（H21）：37.6 万人

○整備されている公園事業の被害状況

全壊	0 事業	
半壊	0 事業	
一部被害	3 事業	園地×2、駐車場
被害なし	3 事業	博物展示施設、野営場、宿舎
未調査	0 事業	

## (2) 単独施設事業

	全壊	半壊	一部被害	被害なし	未調査
久慈市			1 (野営場)	3 (園地×2、宿舎)	
野田村	2 (園地×2)			2 (野営場×2)	
普代村	1 (野営場)				
田野畑村	1 (野営場)			3 (園地×3)	
岩泉町	1 (園地)			2 (園地×2)	
宮古市	1 (野営場)			1 (園地)	
山田町		2 (園地×2)	1 (園地)	2 (園地×2)	
大槌町	2 (園地、宿舎)			3 (園地×2、宿舎)	
大船渡市			1 (園地)	3 (園地×2、駐車場)	
陸前高田市			1 (園地)	5 (園地×5)	
気仙沼市	3 (園地×2、水泳場)		3 (園地×3)	3 (園地×3)	

## (3) 車道事業

	全壊	半壊	一部被害	被害なし	未調査
普代村～ 田野畑村			1		
宮古市				1	
山田町		1	1	1	
大船渡市			1	1	
気仙沼市		1	1		

## (4) 歩道事業

	全壊	半壊	一部被害	被害なし	未調査
久慈市					1
普代村～ 田野畑村					1
田野畑村					1
宮古市		1			2
山田町					1
釜石市		1	2		
気仙沼市		1			1

## 2. 南三陸金華山国定公園の被害状況

- 公園事業施設もしくはそれに相当する施設の多くが、リアス式海岸の岬の先端部、牡鹿半島に整備されている。しかし、これらの多くについては、震災による交通規制のため調査できていない（15 地域）
- 湾内の海水浴場など、津波の被害が甚大であった地域については、施設の震災前の状況の把握が困難なこともあり、被害状況が正確に把握できていない

## (1) 集団施設地区

- 南三陸金華山国定公園には、2つの集団施設地区が指定されている。
- いずれの集団施設地区も、震災による交通規制のため調査できていない

## ①神割崎集団施設地区（宮城県南三陸町、石巻市）

- 整備計画：海食崖、海食洞等特徴ある地形とクロマツ林が海岸にそって見られ、従来から野営利用が行われている。このことから、当地区を公園北部の利用拠点と位置付け、野営施設を中心に、スポーツ広場、自然探勝路、磯遊び及びボート遊び等の関連施設を計画する。

- 年間利用者数（H21）：24.7 万人

## ②山鳥渡集団施設地区（宮城県石巻市）

- 整備計画：金華山島の眺望に優れるとともに、地形が平坦であるので、本地区を当公園南部の利用拠点として位置付ける。宿泊施設を中心として、スポーツ広場、ピクニック園地等を計画する。
- 年間利用者数（H21）：1.9万人

## (2) 単独施設・歩道（公園事業相当の施設を含む）

	全壊	半壊	一部被害	被害なし
気仙沼市	2 (休憩所、水泳場)	3 (水泳場、トイレ、休憩所)		
南三陸町	1 (トイレ)	1 (歩道)		
女川町			4 (園地×2、トイレ、休憩所)	2 (駐車場、休憩所)

## 3. 種差海岸階上岳県立自然公園の被害状況

- 集団施設地区は指定されていない
- 単独施設・歩道（公園事業相当の施設を含む）

	全壊	半壊	一部被害	被害なし	未調査
八戸市	6 (トイレ×3、水泳場、休憩所、園地)	9 (トイレ×6、水泳場×3)	6 (休憩所、駐車場、歩道×4)	11 (トイレ×2、休憩所×2、駐車場×3、展望施設×1、歩道×2、野営場)	
階上町		2 (トイレ×2)	1 (園地)	2 (駐車場×2)	1 (トイレ)

## 4. 県立自然公園気仙沼の被害状況

- 公園事業相当の施設として、大理石海岸の状況について調査を実施
- 駐車場（被害なし）、トイレ（半壊）、歩道（半壊）であった。
- 集団施設地区は指定されていない